

三浦市公共下水道事業におけるコンセッション方式の導入検討について

1. 下水道が抱える問題

- ・施設の老朽化
- ・使用料収入の減少
- ・厳しい財政事情
- ・人材不足

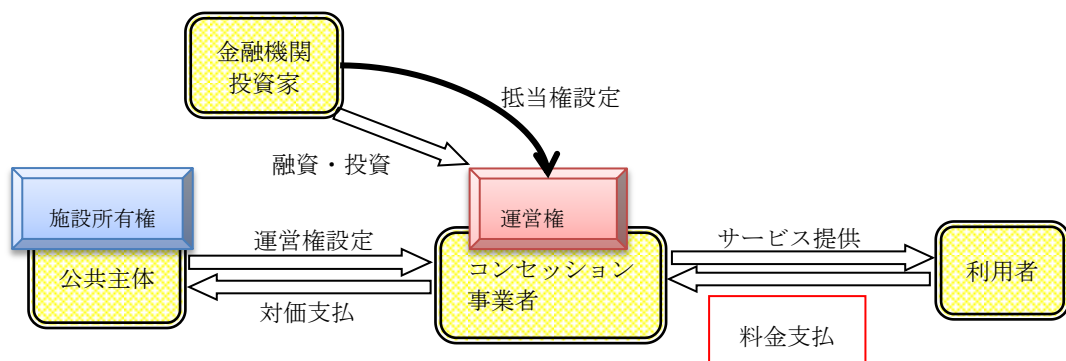
2. コンセッションの導入により期待される効果

- ・民間のノウハウ・創意工夫を生かした、下水道施設の効率的な老朽化対策・運転維持管理、コスト縮減
- ・人口減に伴う需要リスクの民間との共有
- ・市職員数の削減
- ・P F I 事業への国の優先的な支援

3. コンセッション方式（公共施設等運営権方式）とは

利用料金の徴収を行う公共施設について、施設の所有権を公共主体が有したまま、施設の運営権を民間事業者を設定する方式。（平成23年P F I法改正により導入）

民間事業者による安定的で自由度の高い運営を可能とすることにより、利用者ニーズを反映した質の高いサービスを提供。



4. 事業者が行う業務

	現行の包括的民間委託	コンセッション方式
処理場	運転維持管理 小規模修繕	運転維持管理 修繕 改築
ポンプ場	運転維持管理 小規模修繕	運転維持管理 修繕 改築
管きよ		維持管理 清掃・修繕 改築 増築

5. 事業予定期間

平成31年度から50年度までの20年間

6. 主な経過

(1)平成26年度

○三浦市におけるPPP可能性の提案（東洋大学からの提案）

(2)平成27年度

○先導的官民連携支援事業（国交省官民連携政策課補助事業）

・コンセッション導入可能性調査

(3)平成28年度

○先導的官民連携支援事業（国交省官民連携政策課補助事業）

・コンセッション推進に向けた情報整備調査

○下水道事業における公共施設等運営事業等の案件形成に関する方策検討業務（三浦市をモデル自治体とした国交省下水道企画課における業務）

7. 今後市議会へ提案を予定する議案

- ・（仮称）三浦市公共下水道運営事業コンセッション審査委員会条例
- ・実施方針を定めるための条例
- ・債務負担行為を含む予算
- ・事業者への運営権設定に係る議決
- ・実施契約の締結